



【写真/上】Jプロツアー2018年間チーム総合優勝
【写真/下】2連覇を誓う宇都宮ブリッツェン

結果は優勝できませんでしたが、チームが大きく成長した姿を宇都宮市民に見ていただくことができたと感じています。

——**小野寺選手は、いまだどんな課題がありますか。**

小野寺 現時点（1月23日）では、2月のシーズン開始に向けて、基礎体力作りの最終段階です。

重要なのは、年間を通じて体力や健康を維持できること。ロードレースは距離も時間も長いので、体力づくりはとても重要です。

レースシーズンが始まれば、今度は各レースの特徴に合わせた調整や、レース結果から浮かび上がった課題の克服などに力を入れます。

——**チームの活動を通じて、宇都宮市の良さを伝えることはありますか？**

廣瀬 何と言っても、大きな国際レースが街中で開催されているというのは、他にあまり無い特徴だと感じますね。また、他スポーツと比較しても自転車競技への注目度や、自転車そのもののへの興味が上がっていると実感しています。

小野寺 自転車の盛り上がり方が、ずいぶん違いますね。僕もシーズンを通していろいろな都市に行きますが、宇都宮市ほど自転車が盛り上がっている都市は、他にないですよ。サポーターも多いし、街中にはたくさん

ポスターが掲示してあります。「ああ、市民の皆さんに認知されて来たのだな」と感じています。

——**「東京オリンピックの代表枠にブリッツェン選手を」**

（廣瀬ゼネラルマネージャー）

小野寺 昨シーズンはチームの一員として頑張ったので、結果自分でも勝利をあげることができました。新しいシーズンでもチームメンバーと力を合わせて、頑張っていきたいと思っています。

個人的な成績としては、僕はまだロードレースでの勝利を経験していませんので、新シーズンにはそれが大きな目標ですね。レース展開の中で、僕に勝利が委ねられるシーンがあります。そういう時に、確実に勝ちを取ることができればいいと思います。

廣瀬 チームとして、連覇は当然狙っています。それだけの実力もあると思います。もうひとつ、大きな目標があります。2020年に開催される東京オリンピックの代表選手枠に、ブリッツェンの選手をぜひ入りたいと思っています。そのためには、指定されたレースで国際ポイントを獲得しなければ

「こんなに自転車が盛り上がっている街は他にない」

（小野寺選手）

——**昨シーズンでいちばん印象に残っているレースについて教えてください。**

小野寺 僕は、昨年5月に宇都宮清原工業団地で開催された「第5回JBCF宇都宮クリテリウム」です。地元開催ということもあり、とても多くのサポーターの方々が応援に来ていただきました。僕自身も以前からぜひ勝たせたかったレースですので、トップでゴールできた瞬間は本当に忘れられません。

廣瀬 昨年は選手みんなが力をつけ、チームワークも良かったので、たくさんのレースで勝つことができました（Jプロツアー10勝など）。その中で私がおもった印象に残っているのは、実は勝った試合ではないんです。10月に宇都宮市で開催された、ジャパンカップサイクルロードレースです。あの時ブリッツェンは、世界のトップチームを相手に、最初から終盤までレースをコントロールし続けました。

ばなりません。

今年、代表枠獲得のために大変重要な年です。シーズンを通じて、選手にもモチベーションを維持してほしいですし、私たち運営側も力のかぎりサポートしていくつもりです。

——**最後に、次の10年に向けた抱負をお願いします。**

廣瀬 この10年間に、ブリッツェンは「宇都宮」のチームから「栃木」のチームになり、今や「日本」を代表するチームの一つにまで成長できたと自負しています。次は「世界」です。世界に「宇都宮ブリッツェン」の名前をとどろかせるために、国際レースでも優勝を狙える力をつけていきたいですね。そのためには選手だけでなく、運営する私たちサイクルスポーツマネージャー（株）も成長し、実力をつけなければなりません。これまでとは何ランクも上のマネージャー能力を身につければ、チームを支えられるようになります。決意しています。

——**夢は「ツール・ド・フランス」ですね。**

廣瀬 フランスで赤いユニフォームが疾走し、ゴールであるシャンゼリゼ通りで迎えることができましたら、どんなに素晴らしいことかと思えます。この夢を実現させるためには、努力だけではなく、資金力も不可欠です。

私たち宇都宮ブリッツェンだけの夢ではなく、宇都宮市民全員の夢に変えることができる方が、1人でも2人でも増えることが実現への歩みなので、ぜひご支援をよろしくお願います。



2018ジャパンカップサイクルロードレースでも活躍



UTSUNOMIYA BLITZEN

特集2 宇都宮ブリッツェン総合優勝

おめでとう宇都宮ブリッツェン、年間チーム総合優勝！ 創立10年の節目の年、4年ぶり日本一に

宇都宮市に拠点を置くプロサイクルロードレースチーム、宇都宮ブリッツェンが、昨年の「Jプロツアー2018」で年間チーム総合優勝を果たしました。プロ10年目の節目の年に、4年ぶり3度目の日本一という快挙です。優勝の喜びと今年度にかける抱負について、チームのゼネラルマネージャーを務める廣瀬佳正さんと、中核メンバーの1人である小野寺玲選手に話をうかがいました。



第5回JBCF宇都宮クリテリウムで小野寺選手が優勝を決めた瞬間



小野寺 玲 選手
ゼネラルマネージャー 廣瀬 佳正さん